

あいのいえの概要

急速に変化する社会において、子どもたちを取り巻く環境が変化し、とりわけ不登校やひきこもり等が増加傾向にあります。社会的孤立が生じている子どもや若者に対し、その環境や状態から脱却する機会を提供する目的で、令和5年11月、読谷村に「あいのいえ」を設立し、自立援助事業を展開しております。

「あいのいえ」とは、心の拠り処、安心感、ありのままの自分を受け入れてくれる場所です。現在、小学生から18歳までの利用者がおり、学習支援や体験活動、就労支援、訪問支援、相談業務、カウンセリング業務などを行っています。

開所から1年、読谷村をはじめ、関係機関、地域、多くの皆様方からのお力添えを賜り、今日に至っており、厚く御礼を申し上げますとともに、今後とも引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



開催主旨

当法人は、この度「独立行政法人国立青少年教育振興機構『子どもゆめ基金』」の助成金事業の採択を受け、(株)琉球のタネと提携し教材を開発しました。教材開発を手がけた理由は「学校に登校したくても行けない」子どもたちに、アウトリーチで必要とされる情報を提供し、彼らがその情報から自分にふさわしいコンテンツを選択し、自分のペースで知識・技能を習得していく、すなわち自らの可能性を切り拓いていくことができると考えたからです。本シンポジウムにおいては、あいのいえが提供する教材紹介をはじめ、パネルディスカッションでは、テーマ「不登校・ひきこもり問題をどう考えるか」のもと、関係者やフロアの皆様からご意見を頂戴し、ゆんたんざから普及啓発を図ってまいります。多くの皆様のご来場をお待ちしております。



教材の特徴

この教材は、「子どもたちの自尊心を高め、将来の選択肢を広げること」を目指しています。特に、不登校や学習に困難を抱える子どもたちを対象としたサポートを想定しています。この教材は、動画とワークシートを組み合わせることで、子どもたちが自分のペースで学び、考える力を養うことができるよう工夫されています。

<教材を最大限に活用するためのポイント>

- 子どものペースに合わせて進めることを大切にする
- 動画やワークシートを活用し、子どもが自ら考え、選択する機会を提供する
- 子どもが自由に自己表現できるようサポートし、やりとりを増やす



わたしの夢つむぎ
～あいのいえバイエル～

